



HYOGO University

令和6(2024)年度

卒業生アンケート調査報告書

2024年度実施 卒業生アンケート

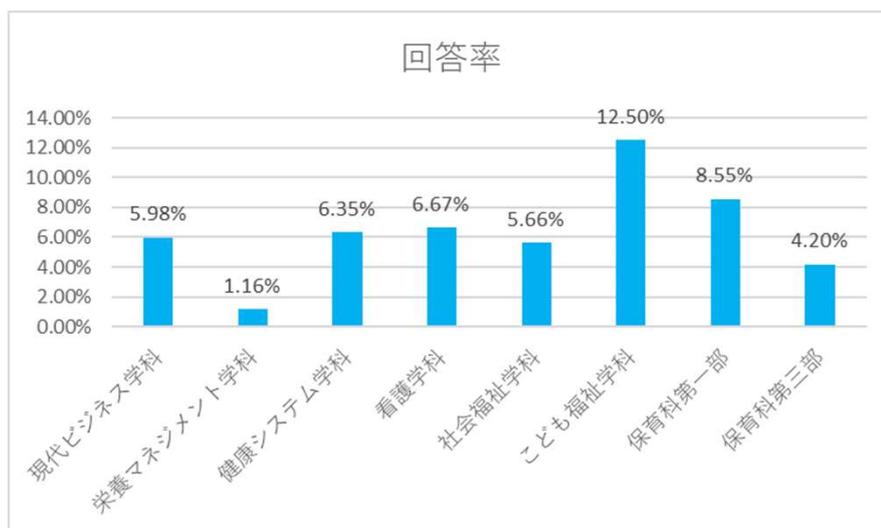
I - 1 最終年度に所属していた学科

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆ 大学卒業生477名、短大卒業生382名、合計859名に依頼はがきを発送。宛先不明で帰ってきたのは6件であった。
- ◆ 大学卒業生36名(6.4%)、短大卒業生19名(6.4%)、合計55名(6.4%)が回答。
- ◆ 今回調査では、こども福祉学科の回答率が高いのが特徴的である。

区分	発送数	回答数	回答率
大学2022年度卒	340	26	7.6%
大学2019年度卒	224	10	4.5%
大学計	564	36	6.4%
短大2022年度卒	137	9	6.6%
短大2019年度卒	158	10	6.3%
短大計	295	19	6.4%
合計	859	55	6.4%

学科	発送数	回答数	回答率
現代ビジネス学科	117	7	5.98%
栄養マネジメント学科	86	1	1.16%
健康システム学科	63	4	6.35%
看護学科	165	11	6.67%
社会福祉学科	53	3	5.66%
こども福祉学科	80	10	12.50%
保育科第一部	152	13	8.55%
保育科第三部	143	6	4.20%
合計	859	55	6.40%



【参考資料】

学科	2019年度調査			2020年度調査			2021年度調査			2022年度調査		
	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率
経済情報学科	60	3	5.0%	22	3	13.6%	3	0	0.0%			
現代ビジネス学科				22	3	13.6%	22	2	9.1%	44	4	9.1%
栄養マネジメント学科	135	4	3.0%	112	2	1.8%	42	8	19.0%	47	9	19.1%
健康システム学科	88	5	5.7%	64	2	3.1%	30	6	20.0%	30	1	3.3%
看護学科	215	12	5.6%	194	13	6.7%	85	20	23.5%	101	10	9.9%
社会福祉学科	32	3	9.4%	46	2	4.3%	23	4	17.4%	23	3	13.0%
こども福祉学科	43	1	2.3%	65	10	15.4%	34	5	14.7%	31	3	9.7%
保育科第一部	202	9	4.5%	318	11	5.5%	96	24	25.0%	72	14	19.4%
保育科第三部	168	10	6.0%				62	12	19.4%	85	11	12.9%
合計	943	47	5.0%	843	46	5.5%	397	81	20.4%	433	55	12.7%
	インセンティブなし						クオカード			インセンティブなし		

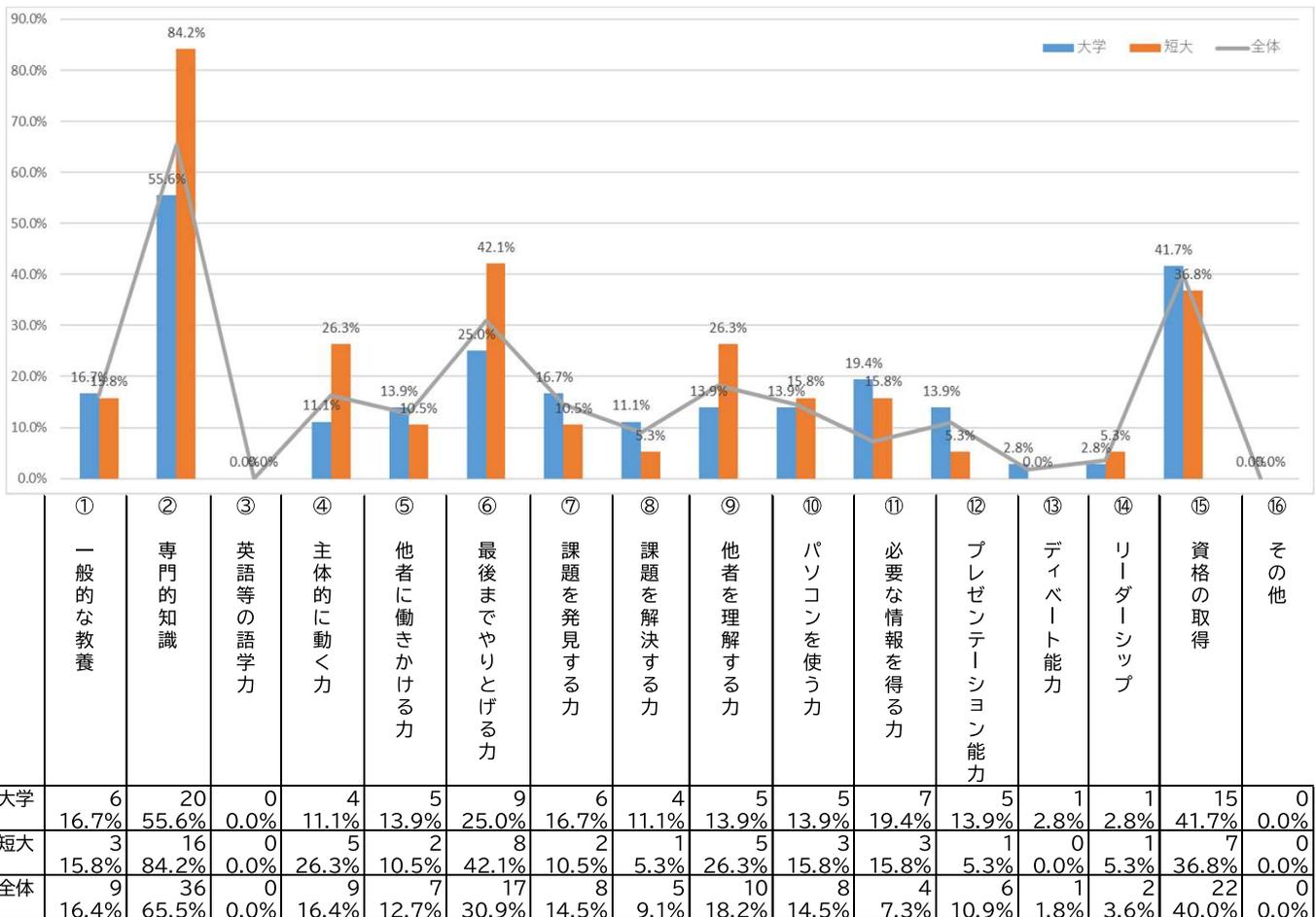
Ⅱ - 1. 大学教育の中で身につけた知識・能力

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆「専門的知識」(65.5%)、「資格の取得」(40.0%)が最も高いが、前回調査(「専門的知識」67.3%、「資格の取得」70.9%)よりもポイントは下がっている。大学は回答が分散し、短大は特定の項目に集中する傾向があり、短大の専門性が特徴的に見られる。大学も学科によって教育内容の専門性があるため、設問としては「専門的知識」「資格の取得」が共通の内容となり、回答率が高くなる。今後、回答が多く寄せられれば、各学科の特徴も見えてくると思われる。
- ◆きわめて回答率が低かったのは「英語等の語学力」(0.0%)、「ディベート能力」(大学2.8%、短大0.0%)であった。これは前回調査でも同様であり、本学の語学教育について、考え直す必要があるのかもしれない。他に、「リーダーシップ」(大学2.8%、短大5.3%)も低い回答率になっている。

(2) 大学教育の中で身に付けることができたと思う知識・能力は何ですか。該当するものを3つまで選んでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 一般的な教養 | ⑨ 他者を理解する力 |
| ② 専門的知識 | ⑩ パソコンを使う力 |
| ③ 英語等の語学力 | ⑪ 必要な情報を得る力 |
| ④ 主体的に動く力 | ⑫ プレゼンテーション能力 |
| ⑤ 他者に働きかける力 | ⑬ ディベート能力 |
| ⑥ 最後までやりとげる力 | ⑭ リーダーシップ |
| ⑦ 課題を発見する力 | ⑮ 資格の取得 |
| ⑧ 課題を解決する力 | ⑯ その他 |



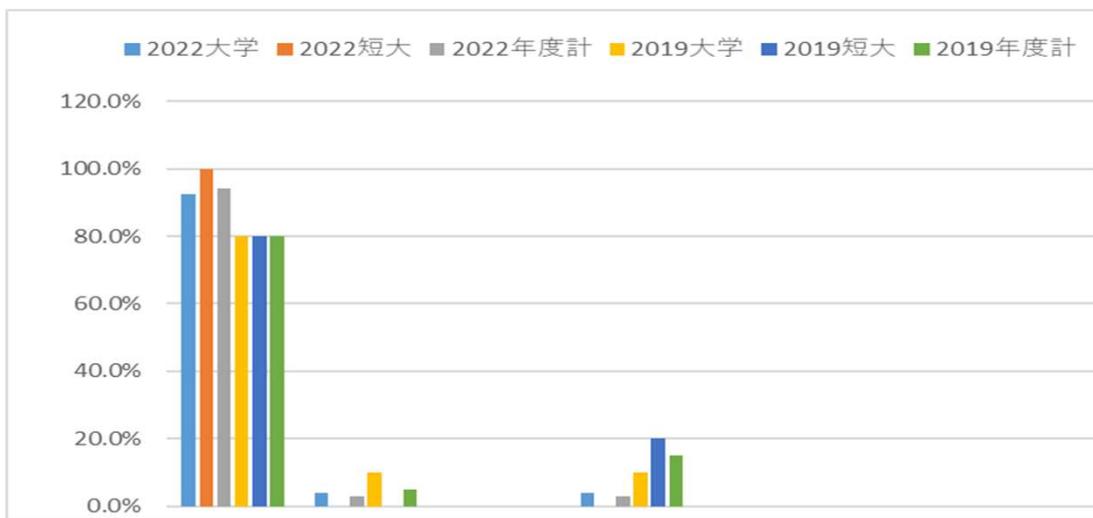
Ⅲ－1. 卒業後の職業やキャリア

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆新規卒者は3年でおよそ3割が退職するといわれる。今回の調査は2022年度3月卒業生と2019年度卒業生を対象としており、経年比較的にデータを見ることができる。この調査からは卒業後5年(2019年度卒業生)の正社員・正規職員としての定着率は高いと思われるが、定着しているからこそ回答を送っているとも考えられる。回答率を上げたうえでの分析が求められる。
- ◆ここでは学科別集計を表示していないものの卒業生の内、すでに10.9%の卒業生が正社員・正規職員ではない実態は、「就職率100%」を目指す本学としてはさらなる検討が必要でもある。

(3) あなたの職業やキャリアについてお聞かせください。

- ① 正社員・正規職員
- ② 契約社員・契約職員
- ③ 派遣社員・派遣職員
- ④ パート・アルバイト
- ⑤ 専業主婦・専業主夫
- ⑥ 無職
- ⑦ その他



上段:度数 下段:%	① 正社員・ 正規職員	② 契約社員・ 契約職員	③ 派遣社員・ 派遣職員	④ パート・ アルバイト	⑤ 専業主婦・ 専業主夫	⑥ 無職	⑦ その他
2022大学	24 92.3%	1 3.8%	-	1 3.8%	-	-	-
2022短大	9 100.0%	-	-	-	-	-	-
2022年度計	33 94.3%	1 2.9%	-	1 2.9%	-	-	-
2019大学	8 80.0%	1 10.0%	-	1 10.0%	-	-	-
2019短大	8 80.0%	-	-	2 20.0%	-	-	-
2019年度計	16 80.0%	1 5.0%	-	3 15.0%	-	-	-

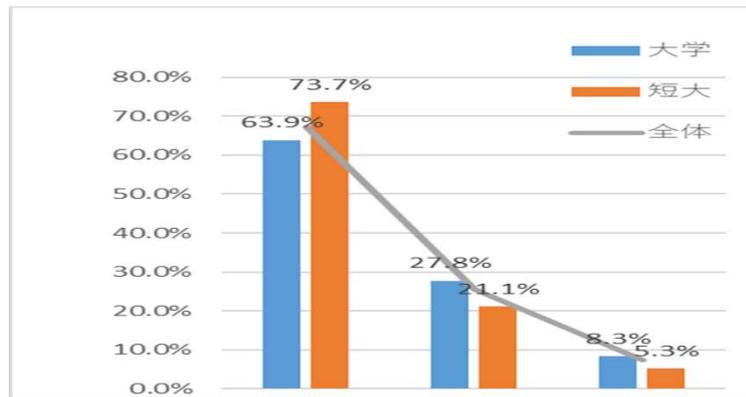
Ⅲ－２．希望通りの進路であったか

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆ 「希望通り」「おおむね希望通り」を合わせて92.8%、「希望通りでなかった」が7.3%である。
- ◆ 「希望通りの進路でなかった」の実数が4名で、そのうちの1名が本学での学びに不満足である旨回答している。

(4) 卒業後、希望通りの進路に進むことができましたか。

- ① 希望通りのところへ進むことができた
- ② おおむね希望通りのところへ進むことができた
- ③ 希望通りのところへ進むことができなかった



	① 希望通りのところへ 進むことができた	② おおむね希望通りのと ころへ進むことができた	③ 希望通りのところへ進 むことができなかった
大学	23 63.9%	10 27.8%	3 8.3%
短大	14 73.7%	4 21.1%	1 5.3%
全体	37 67.3%	14 25.5%	4 7.3%

上段:度数 下段:%	本学で学んだことについて満足していますか				
	あてはまら ない	あまりあて はまらない	ある程度あ てはまる	とてもあて はまる	全体
希望通りのところへ進む ことができた	-	2 5.4%	11 29.7%	24 64.9%	37 100.0%
おおむね希望通りのところ へ進むことができた	-	1 7.1%	9 64.3%	4 28.6%	14 100.0%
希望通りのところへ進む ことができなかった	-	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	4 100.0%
全体	-	4 7.3%	23 41.8%	28 50.9%	55 100.0%

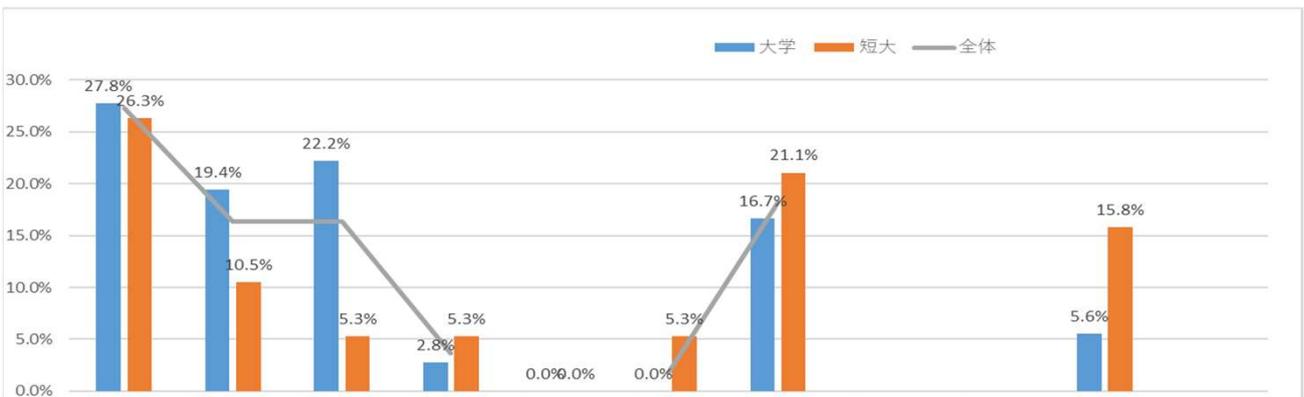
Ⅲ - 3. 就職先決定に際して重視した点

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆ 「大学での専門分野との関連」が最も高く27.3%となっている。次いで「安定性」が18.2%、「業種」と「地域条件」が16.4%となり、安定志向が高くなっている傾向が見られる。
- ◆ 「大学での専門分野との関連」に関しては、大学と短大で目立った差は見られないものの、大学における「地域条件（勤務地・転勤の有無など）」（大学22.2%、短大5.3%）の差が目立つ。
- ◆ 上記以外の選択については各々の価値観の相違によるものと思われる。

(5) 就職先を決定するに当たって最も重視したことは何ですか。該当するものを一つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| ① 大学での専門分野との関連 | ⑥ 経営方針 |
| ② 業種 | ⑦ 安定性 |
| ③ 地域条件（勤務地・転勤の有無など） | ⑧ 給与 |
| ④ 規模 | ⑨ OBやOGの存在 |
| ⑤ 知名度やイメージ | ⑩ 勤務時間・休暇・福利厚生など |
| | ⑪ その他 |



	① 大学での専門分野との関連	② 業種	③ 地域条件（勤務地・転勤の有無など）	④ 規模	⑤ 知名度やイメージ	⑥ 経営方針	⑦ 安定性	⑧ 給与	⑨ OBやOGの存在	⑩ 勤務時間・休暇・福利厚生など	⑪ その他
大学	10 27.8%	7 19.4%	8 22.2%	1 2.8%	-	-	6 16.7%	-	-	2 5.6%	-
短大	5 26.3%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	-	1 5.3%	4 21.1%	-	-	3 15.8%	-
全体	15 27.3%	9 16.4%	9 16.4%	2 3.6%	-	1 1.8%	10 18.2%	-	-	5 9.1%	-

		就職先を決定するに当たって最も重視したことは何ですか										
		① 大学での専門分野との関連	② 業種	③ 地域条件（勤務地・転勤の有無など）	④ 規模	⑤ 知名度やイメージ	⑥ 経営方針	⑦ 安定性	⑧ 給与	⑨ OBやOGの存在	⑩ 勤務時間・休暇・福利厚生など	⑪ その他
大学教育の中で身に付けることができたと思う知識・能力は何ですか	① 一般的な教養	5.5%	1.8%	1.8%	-	-	1.8%	3.6%	-	-	-	1.8%
	② 専門的知識	21.8%	7.3%	9.1%	1.8%	-	-	9.1%	-	-	7.3%	7.3%
	③ 英語等の語学力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	④ 主体的に動く力	-	-	3.6%	3.6%	-	-	-	-	-	5.5%	1.8%
	⑤ 他者に働きかける力	3.6%	1.8%	-	-	-	1.8%	-	-	-	-	-
	⑥ 最後までやりとげる力	3.6%	7.3%	3.6%	1.8%	-	1.8%	7.3%	-	-	1.8%	-
	⑦ 課題を発見する力	1.8%	3.6%	1.8%	1.8%	-	-	-	-	-	-	-
	⑧ 課題を解決する力	-	1.8%	-	-	-	-	1.8%	-	-	-	-
	⑨ 他者を理解する力	1.8%	3.6%	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑩ パソコンを使う力	5.5%	-	3.6%	-	-	-	3.6%	-	-	1.8%	-
	⑪ 必要な情報を得る力	-	-	1.8%	-	-	-	3.6%	-	-	-	1.8%
	⑫ プレゼンテーション能力	1.8%	3.6%	1.8%	-	-	-	-	-	-	1.8%	1.8%
	⑬ ディベート能力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8%
	⑭ リーダーシップ	-	-	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑮ 資格の取得	16.4%	5.5%	5.5%	-	-	-	9.1%	-	-	3.6%	-
	⑯ その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

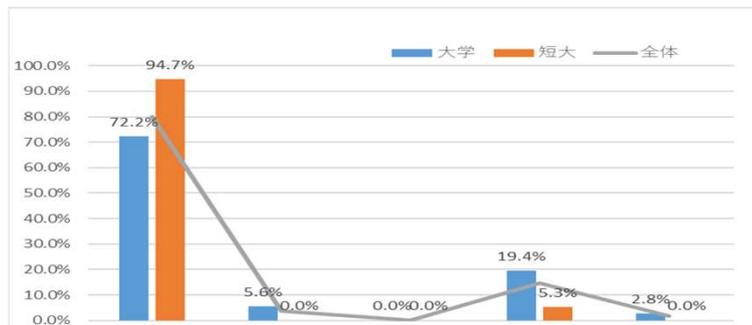
Ⅲ - 4. 現在、大学で修得した専門知識または資格を生かす職に就いているか

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆「希望通りの進路」「おおむね希望通り」で「生かす職に就いている」卒業生は80.0%となっている。「生かす職についていない」卒業生は、現代ビジネス学科5名、健康システム学科1名、こども福祉学科1名、保育科第一部1名(計14.5%)で、保育科以外は希望通りの進路であった。保育科第一部の1名については、卒業後5年で、キャリアが「パート・アルバイト」となっており、正規職員としての就職をしていないことがわかる。
- ◆「就職したことがない」は、こども福祉学科1名で、「おおむね希望通り」となっていることから、結婚などの事情がうかがえる。

(6) 現在、大学で修得した専門知識または資格を生かす職に就いていますか。

- ① 卒業後ずっと生かす職に就いている。
- ② 生かす職には就いていなかった(あるいは就いていないときもあった)が現在は就いている。
- ③ 過去には生かす職についていたが、現在は異なる職についている(主婦、主夫を含む)。
- ④ 卒業以来一度も生かす職には就いていない。
- ⑤ 就職したことがない。



	① 卒業後ずっと生かす職に就いている。	② 生かす職には就いていなかった(あるいは就いていないときもあった)が現在は就いている。	③ 過去には生かす職についていたが、現在は異なる職についている(主婦、主夫を含む)。	④ 卒業以来一度も生かす職には就いていない。	⑤ 就職したことがない。
大学	26 72.2%	2 5.6%	0 0.0%	7 19.4%	1 2.8%
短大	18 94.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
全体	44 80.0%	2 3.6%	0 0.0%	8 14.5%	1 1.8%

	① 希望通りのところへ進むことができた	② おおむね希望通りのところへ進むことができた	③ 希望通りのところへ進むことができなかった	全体
① 卒業後ずっと生かす職に就いている。	61.8%	16.4%	1.8%	80.0%
② 生かす職には就いていなかった(あるいは就いていないときもあった)が現在は就いている。	0.0%	1.8%	1.8%	3.6%
③ 過去には生かす職についていたが、現在は異なる職についている(主婦、主夫を含む)。	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 卒業以来一度も生かす職には就いていない。	5.5%	5.5%	3.6%	14.5%
⑤ 就職したことがない。	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%
全体	67.3%	25.5%	7.3%	100.0%

Ⅲ - 5. 勤務先において求められる能力

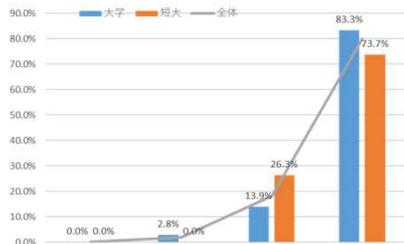
調査結果要約・考察・まとめ

- ◆ 卒業生が「とても求められる」と回答した能力は、「表現力・コミュニケーション能力」(80.0%)、「社会のルール・マナーについて理解する力」(69.1%)、「専門分野に関する知識・理解を応用する力」(69.1%)である。コミュニケーションスキルが求められていると感じていることがわかる。
- ◆ 15項目の中で、「求められない」と回答する項目はほとんど見受けられない中で、「特定の外国語を用いて相手と意思疎通できる力」については「求められない・あまり求められない」が4割(47.3%)を超える。
- ◆ 「特定の外国語を用いて相手と意思疎通できる力」以外の項目に関しては、「とても求められる」「ある程度求められる」が大半を占める。

(7) あなたの勤務先において、下記の能力について社員(職員)等にどの程度求められていると思いますか。
(とても求められる：4、ある程度求められる：3、あまり求められない：2、求められない：1)

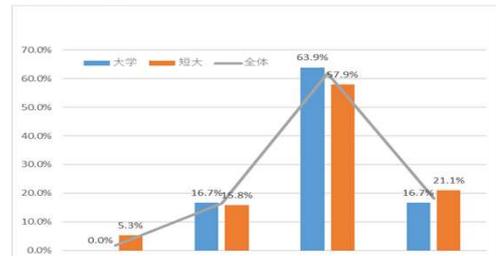
- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ① 表現力・コミュニケーション能力 | (4, 3, 2, 1) |
| ② 情報リテラシー・数理的スキル | (4, 3, 2, 1) |
| ③ 幅広い知識や教養 | (4, 3, 2, 1) |
| ④ 専門分野に関する基本的な知識・理解 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑤ 専門分野に関する知識・理解を応用する力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑥ 目標を設定し達成しようとする力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑦ 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑧ 課題を解決するためのプロセスを理解し自ら取り組む力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑨ 社会のルール・マナーについて理解する力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑩ 社会の一員として社会貢献に積極的に関与する力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑪ 地域の文化・経済の特徴や強みを理解する力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑫ 多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑬ 特定の外国語を用いて相手と意思疎通できる力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑭ 自ら考え主体的に学ぶ力 | (4, 3, 2, 1) |
| ⑮ 学ぶことの意義を理解し学び続けようとする力 | (4, 3, 2, 1) |

■ 大学 ■ 短大 — 全体



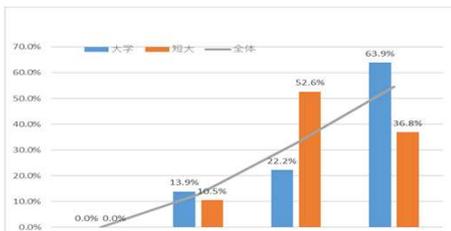
表現力・コミュニケーション能力

	求めない	あまり求めない	ある程度求める	とても求める
大学	0 0.0%	1 2.8%	5 13.9%	30 83.3%
短大	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	14 73.7%
全体	0 0.0%	1 1.8%	10 18.2%	44 80.0%



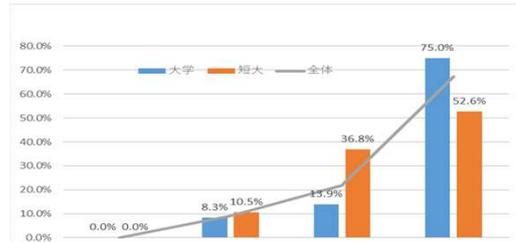
情報リテラシー・数理的スキル

	求めない	あまり求めない	ある程度求める	とても求める
大学	0 0.0%	6 16.7%	23 63.9%	6 16.7%
短大	1 5.3%	3 15.8%	11 57.9%	4 21.1%
全体	1 1.8%	9 16.4%	34 61.8%	10 18.2%



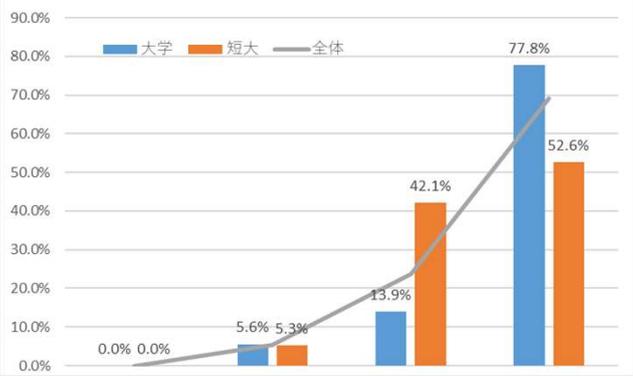
幅広い知識や教養

	求めない	あまり求めない	ある程度求める	とても求める
大学	0 0.0%	5 13.9%	8 22.2%	23 63.9%
短大	0 0.0%	2 10.5%	10 52.6%	7 36.8%
全体	0 0.0%	7 12.7%	18 32.7%	30 54.5%



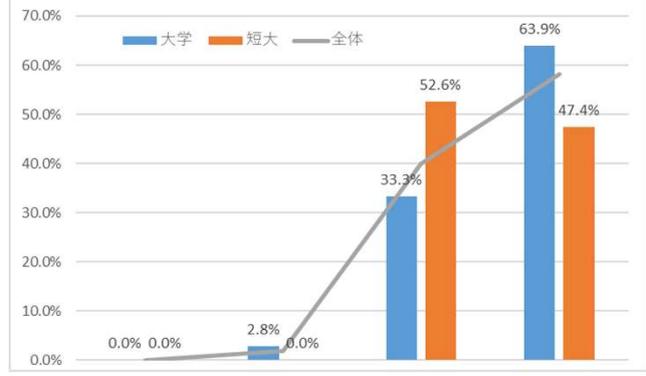
専門分野に関する基本的な知識・理解

	求めない	あまり求めない	ある程度求める	とても求める
大学	0 0.0%	3 8.3%	5 13.9%	27 75.0%
短大	0 0.0%	2 10.5%	7 36.8%	10 52.6%
全体	0 0.0%	5 9.1%	12 21.8%	37 67.3%



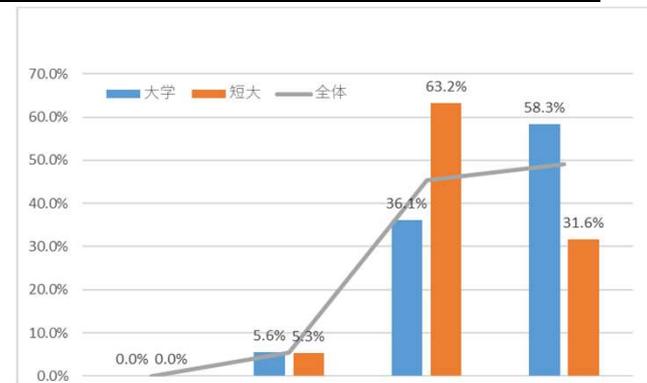
専門分野に関する知識・理解を応用する力

	求めない	求めたい	求める程度	求めるため
大学	0 0.0%	2 5.6%	5 13.9%	28 77.8%
短大	0 0.0%	1 5.3%	8 42.1%	10 52.6%
全体	0 0.0%	3 5.5%	13 23.6%	38 69.1%



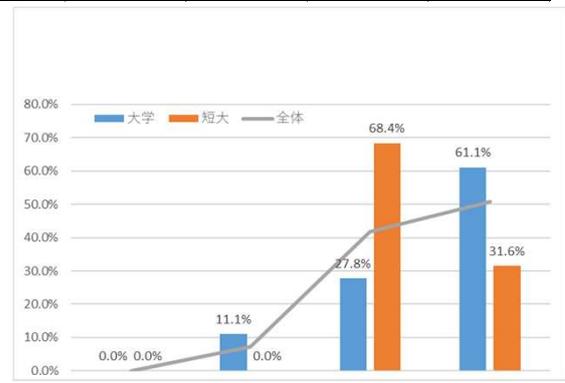
目標を設定し達成しようとする力

	求めない	求めたい	求める程度	求めるため
大学	0 0.0%	1 2.8%	12 33.3%	23 63.9%
短大	0 0.0%	0 0.0%	10 52.6%	9 47.4%
全体	0 0.0%	1 1.8%	22 40.0%	32 58.2%



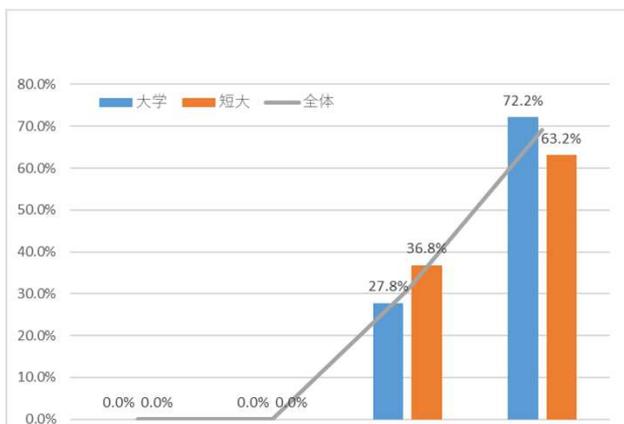
現状を分析し目的や課題を明らかにする力

	求めない	求めたい	求める程度	求めるため
大学	0 0.0%	2 5.6%	13 36.1%	21 58.3%
短大	0 0.0%	1 5.3%	12 63.2%	6 31.6%
全体	0 0.0%	3 5.5%	25 45.5%	27 49.1%



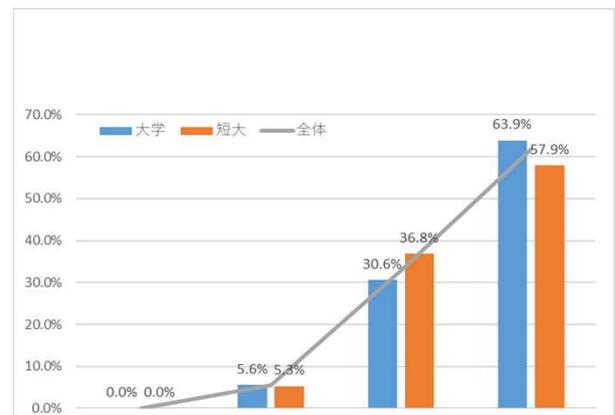
課題を解決するためのプロセスを理解し自ら取り組む力

	求めない	求めたい	求める程度	求めるため
大学	0 0.0%	4 11.1%	10 27.8%	22 61.1%
短大	0 0.0%	0 0.0%	13 68.4%	6 31.6%
全体	0 0.0%	4 7.3%	23 41.8%	28 50.9%



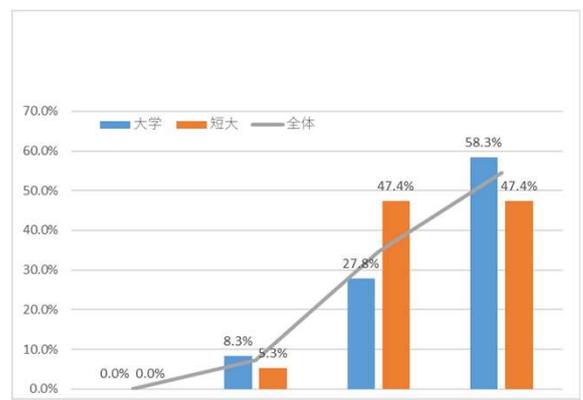
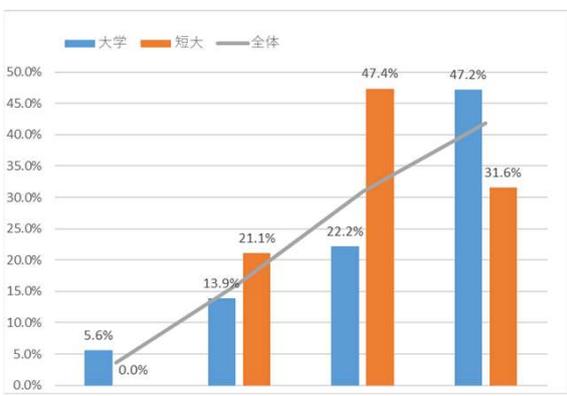
社会のルール・マナーについて理解する力

	求めない	求めたい	求める程度	求めるため
大学	0 0.0%	0 0.0%	10 27.8%	26 72.2%
短大	0 0.0%	0 0.0%	7 36.8%	12 63.2%
全体	0 0.0%	0 0.0%	17 30.9%	38 69.1%



社会の一員として社会貢献に積極的に関与する力

	求めない	求めたい	求める程度	求めるため
大学	0 0.0%	2 5.6%	11 30.6%	23 63.9%
短大	0 0.0%	1 5.3%	7 36.8%	11 57.9%
全体	0 0.0%	3 5.5%	18 32.7%	34 61.8%

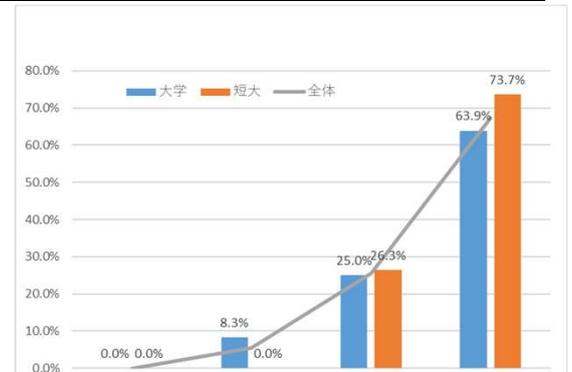
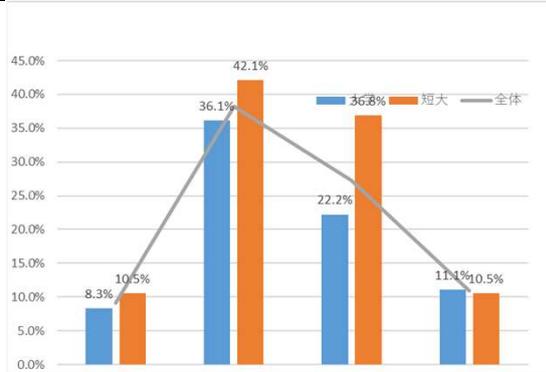


地域の文化・経済の特徴や強みを理解する力

	求めない	求めまじり	求める程度	求めるも
大学	2 5.6%	5 13.9%	8 22.2%	17 47.2%
短大	0 0.0%	4 21.1%	9 47.4%	6 31.6%
全体	2 3.6%	9 16.4%	17 30.9%	23 41.8%

多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力

	求めない	求めまじり	求める程度	求めるも
大学	0 0.0%	3 8.3%	10 27.8%	21 58.3%
短大	0 0.0%	1 5.3%	9 47.4%	9 47.4%
全体	0 0.0%	4 7.3%	19 34.5%	30 54.5%

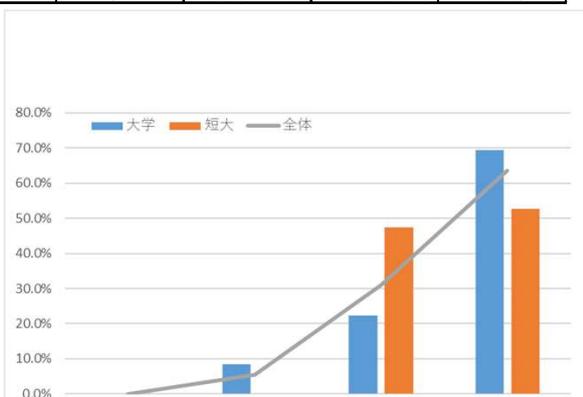


特定の外国語を用いて相手と意思疎通できる力

	求めない	求めまじり	求める程度	求めるも
大学	3 8.3%	13 36.1%	8 22.2%	4 11.1%
短大	2 10.5%	8 42.1%	7 36.8%	2 10.5%
全体	5 9.1%	21 38.2%	15 27.3%	6 10.9%

自ら考え主体的に学ぶ力

	求めない	求めまじり	求める程度	求めるも
大学	0 0.0%	3 8.3%	9 25.0%	23 63.9%
短大	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	14 73.7%
全体	0 0.0%	3 5.5%	14 25.5%	37 67.3%



学ぶことの意義を理解し学び続けようとする力

	求めない	求めまじり	求める程度	求めるも
大学	0 0.0%	3 8.3%	8 22.2%	25 69.4%
短大	0 0.0%	0 0.0%	9 47.4%	10 52.6%
全体	0 0.0%	3 5.5%	17 30.9%	35 63.6%

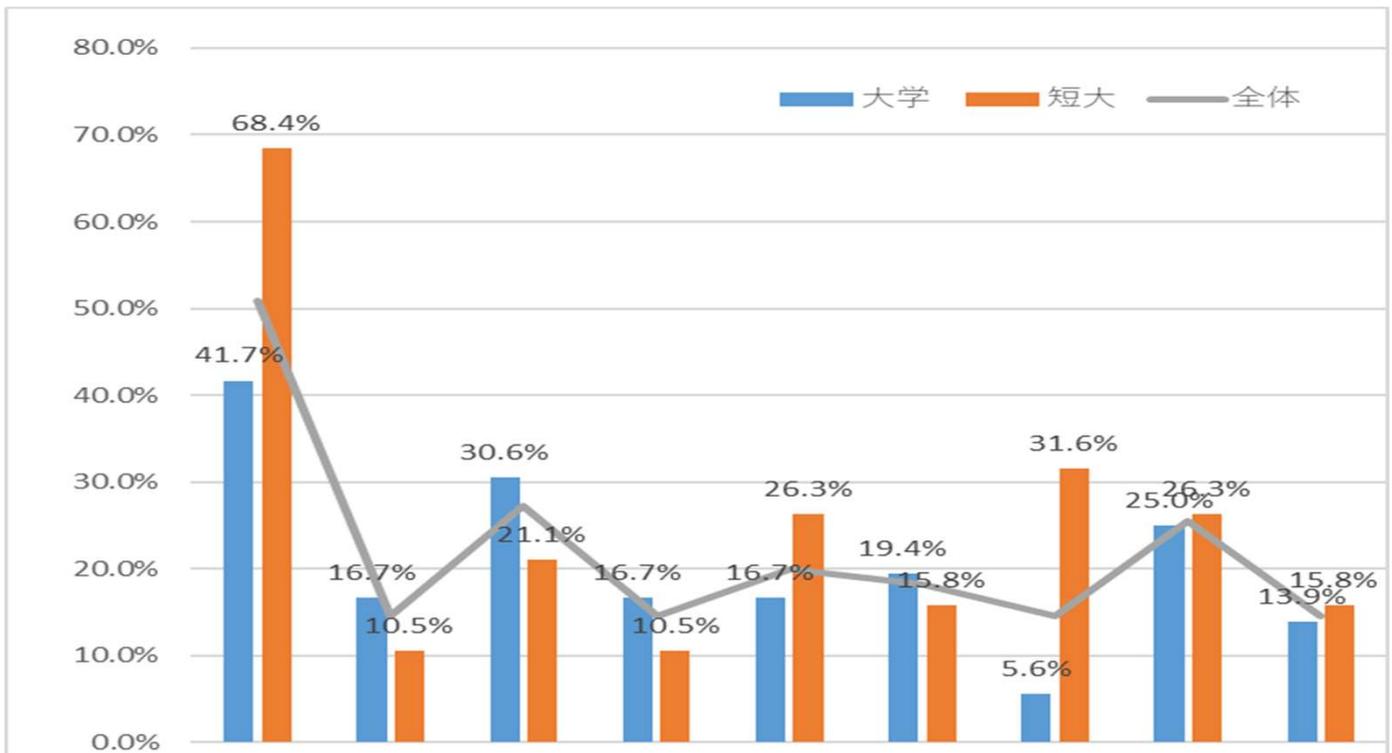
Ⅲ－ 6. 他機関卒業生と接して本学に足りないと思う点

調査結果要約・考察・まとめ

◆ 「先輩や後輩、同級生とのつながり」(50.9%)が最も多く、次に「専門分野教育に関する知識と技術」(27.3%)、「チャレンジ精神、創造性」(25.5%)、「協調性や発言力」(20.0%)である。 「先輩や後輩、同級生とのつながり」については約半数の卒業生が回答している。前回調査(68.0%)よりは少なくなっているが、まだまだつながりが薄い実態が見受けられる。同窓会組織の育成など取り組みを進めるのもよいかも。卒業生アンケートの回答率向上にも資するであろう

(8) 他機関卒業生と接して本学では足りないと感じた部分について。該当するものを3つまで選んでください。

- ① 先輩や後輩、同級生とのつながり
- ② 基礎分野教育に関する知識や技術
- ③ 専門分野教育に関する知識と技術
- ④ コミュニケーション能力
- ⑤ 協調性や発言力
- ⑥ 責任感
- ⑦ 職業観、就業意識
- ⑧ チャレンジ精神、創造性
- ⑨ マナー・倫理観



(9) 他機関卒業生と接して本学では足りないと感じた部分について。該当するものを3つまで選んでください。

	な同先 が級輩 り生や と後 の輩 つ、	やに基 技関礎 術す分 る野 知教 識育	とに専 技関門 術す分 る野 知教 識育	シコ ヨミ ンユ 能ニ カケ ー	力協 調性 や 発言	責 任 感	意職 識業 観、 就業	神チ 、ヤ 創レ 造ン 性ジ 精	観マ ナー ・ 倫 理
大学	15 41.7%	6 16.7%	11 30.6%	6 16.7%	6 16.7%	7 19.4%	2 5.6%	9 25.0%	5 13.9%
短大	13 68.4%	2 10.5%	4 21.1%	2 10.5%	5 26.3%	3 15.8%	6 31.6%	5 26.3%	3 15.8%
全体	28 50.9%	8 14.5%	15 27.3%	8 14.5%	11 20.0%	10 18.2%	8 14.5%	14 25.5%	8 14.5%

Ⅲ－ 7 . 大学時代を振り返り、身につけておくべきだったと思う能力

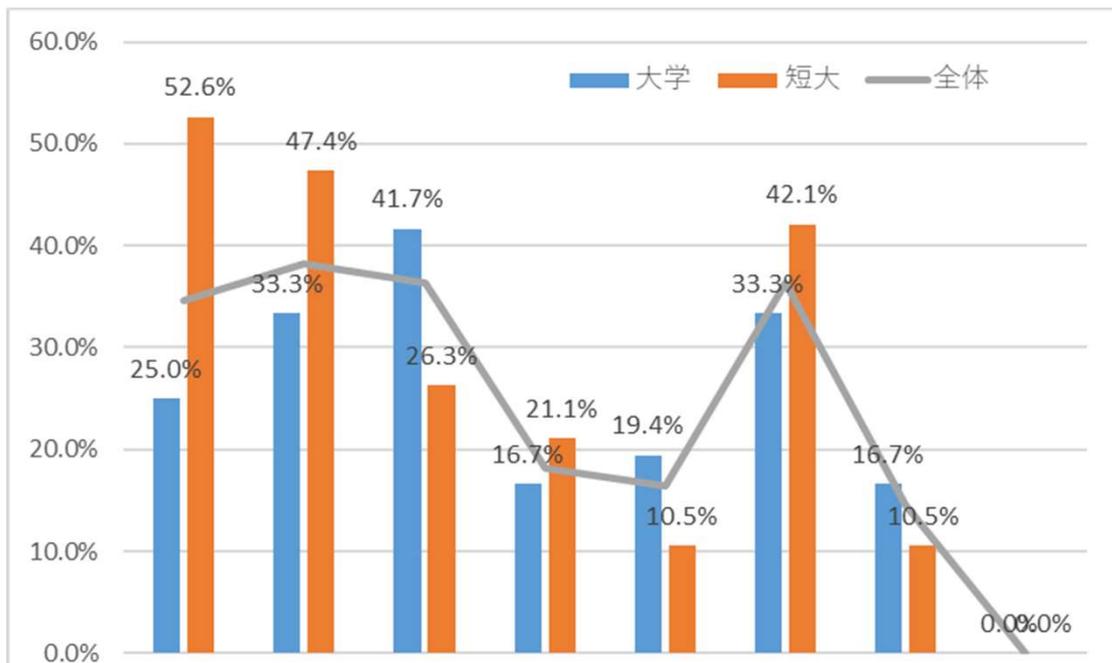
調査結果要約・考察・まとめ

◆ 「リーダーシップ能力」(38.2%)、「社会人としてのマナー・常識」(36.4%)、「新しいことに挑戦する力」(36.4%)、「論理的思考力」(34.5%)、「責任感」(18.2%)と続く。前回調査と内容的には同様であるが、順位には相違がある。

◆ 今回も大学と短大で項目によっては差異がみられるが、「論理的思考力」については短大が52.6%と高くなっている。

(9) 大学時代を振り返り、身に付けておくべきだったと思う能力は何ですか。該当するものを3つまで選んでください。

- ① 論理的思考力
- ② リーダーシップ能力
- ③ 社会人としてのマナー・常識
- ④ 責任感
- ⑤ やり遂げる力
- ⑥ 新しいことに挑戦する力
- ⑦ 他人に対する配慮・心配りができる力
- ⑧ その他



	論理的思考力	リーダーシップ能力	社会人としてのマナー・常識	責任感	やり遂げる力	新しいことに挑戦する力	他人に対する配慮・心配りができる力	その他
大学	9 25.0%	12 33.3%	15 41.7%	6 16.7%	7 19.4%	12 33.3%	6 16.7%	0 0.0%
短大	10 52.6%	9 47.4%	5 26.3%	4 21.1%	2 10.5%	8 42.1%	2 10.5%	0 0.0%
全体	19 34.5%	21 38.2%	20 36.4%	10 18.2%	9 16.4%	20 36.4%	8 14.5%	0 0.0%

IV-1. 本学での学びと本学に対する思い

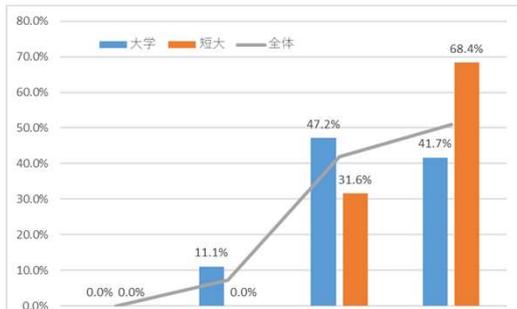
調査結果要約・考察・まとめ

◆次ページに見るとおり、「本学で学んだことについて満足していますか」「本学を卒業したことに誇りを感じますか」の質問に対して満足度や誇りに感じる度合いが高いほど、入学推奨度も高い傾向が見られることから、満足度を上げることが入学推奨度を上げることにもつながる。

(10) 本学での学びと本学に対する思いについて

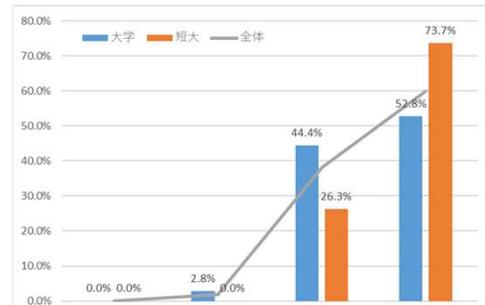
(とてもはてはまる：4、ある程度あてはまる：3、あまりあてはまらない：2、あてはまらない：1)

- ① 本学で学んだことについて満足していますか？ (4, 3, 2, 1)
- ② 本学在学中の学びと経験を通して成長したと思えますか？ (4, 3, 2, 1)
- ③ 本学を卒業したことに誇りを感じますか？ (4, 3, 2, 1)
- ④ 身近に、私立大学への進学を希望する者がいる場合、本学を勧めたいと思えますか？ (4, 3, 2, 1)
- ⑤ 本学での学修や経験は、その後の社会生活やキャリア形成に役立っていますか？ (4, 3, 2, 1)
- ⑥ 本学で得た人とのつながりや人脈は、その後の社会生活や職業生活に役立っていますか？ (4, 3, 2, 1)



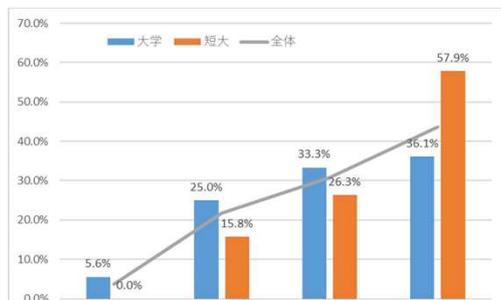
本学で学んだことについて満足していますか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	とてもあてはまる
大学	0 0.0%	4 11.1%	17 47.2%	15 41.7%
短大	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	13 68.4%
全体	0 0.0%	4 7.3%	23 41.8%	28 50.9%



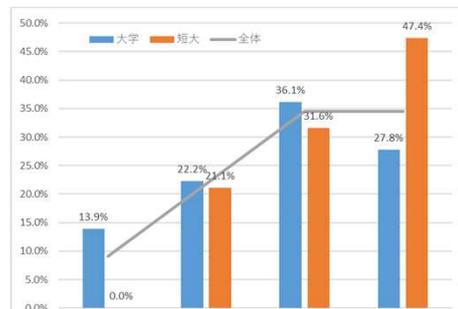
本学在学中の学びと経験を通して成長したと思えますか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	とてもあてはまる
大学	0 0.0%	1 2.8%	16 44.4%	19 52.8%
短大	0 0.0%	0 0.0%	5 26.3%	14 73.7%
全体	0 0.0%	1 1.8%	21 38.2%	33 60.0%



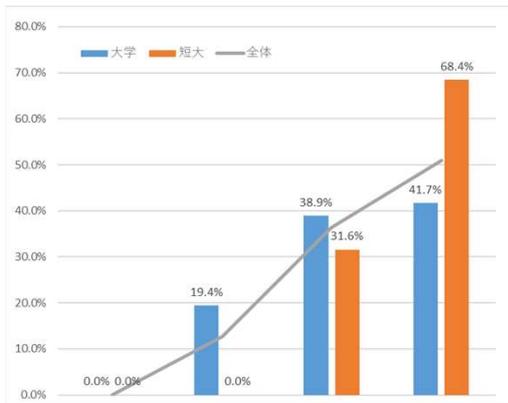
本学を卒業したことに誇りを感じますか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	とてもあてはまる
大学	2 5.6%	9 25.0%	12 33.3%	13 36.1%
短大	0 0.0%	3 15.8%	5 26.3%	11 57.9%
全体	2 3.6%	12 21.8%	17 30.9%	24 43.6%



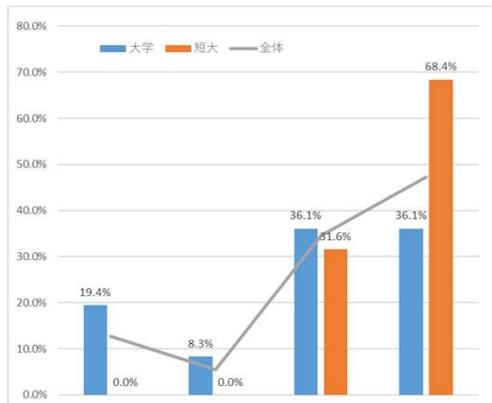
身近に、私立大学への進学を希望する者がいる場合、本学を勧めたいと思えますか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ある程度あてはまる	とてもあてはまる
大学	2 13.9%	9 22.2%	12 36.1%	13 27.8%
短大	0 0.0%	3 21.1%	5 31.6%	11 47.4%
全体	2 9.1%	12 21.8%	17 34.5%	24 34.5%



本学での学修や経験は、その後の社会生活やキャリア形成に役立っていますか？

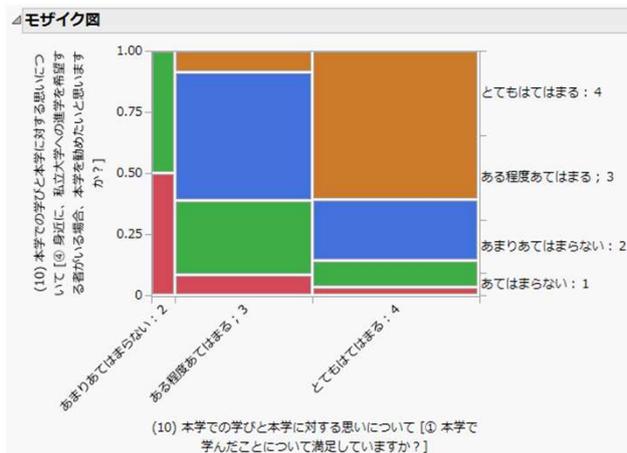
	な あ い て は ま ら	は あ ま ら り な あ い て	て あ は る ま 程 る 度 あ	は と ま て る も あ て
大学	0 0.0%	7 19.4%	14 38.9%	15 41.7%
短大	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	13 68.4%
全体	0 0.0%	7 12.7%	20 36.4%	28 50.9%



本学で得た人とのつながりや人脈は、その後の社会生活や職業生活に役立っていますか？

	な あ い て は ま ら	は あ ま ら り な あ い て	て あ は る ま 程 る 度 あ	は と ま て る も あ て
大学	7 19.4%	3 8.3%	13 36.1%	13 36.1%
短大	0 0.0%	0 0.0%	6 31.6%	13 68.4%
全体	7 12.7%	3 5.5%	19 34.5%	26 47.3%

「本学で学んだことに満足しているか」と「本学を勧めたいか」の相関

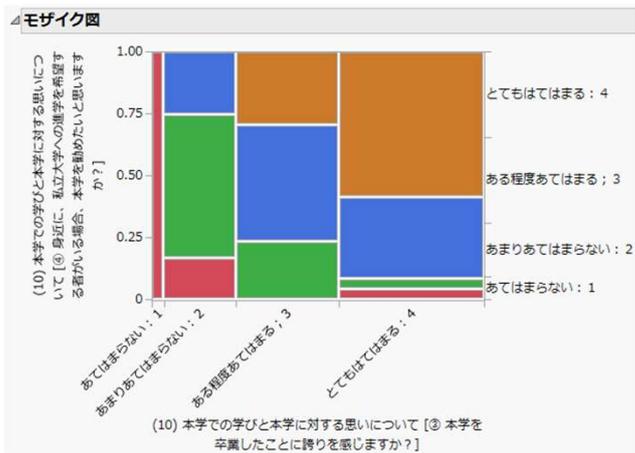


分割表

(10) 本学での学びと本学に対する思いについて [④ 身近に、私...]

度数	あてはまらない: 1	あまりあてはまらない: 2	ある程度あてはまる: 3	とてもあてはまる: 4	合計
全体%					
列%					
行%					
あまりあてはまらない: 2	2 3.64 40.00 50.00	2 3.64 16.67 50.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	4 7.27 0.00 0.00
ある程度あてはまる: 3	2 3.64 40.00 8.70	7 12.73 58.33 30.43	12 21.82 63.16 52.17	2 3.64 10.53 8.70	23 41.82 0.00 8.70
とてもあてはまる: 4	1 1.82 20.00 3.57	3 5.45 25.00 10.71	7 12.73 36.84 25.00	17 30.91 89.47 60.71	28 50.91 26.32 60.71
合計	5 9.09	12 21.82	19 34.55	19 34.55	55

「本学卒業を誇りに思うか」と「本学を勧めたいか」の相関



分割表

(10) 本学での学びと本学に対する思いについて [② 本学を卒業したことに誇りを感じますか?]

度数	あてはまらない: 1	あまりあてはまらない: 2	ある程度あてはまる: 3	とてもあてはまる: 4	合計
全体%					
列%					
行%					
あてはまらない: 1	2 3.64 40.00 100.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	0 0.00 0.00 0.00	2 3.64 0.00 0.00
あまりあてはまらない: 2	2 3.64 40.00 16.67	7 12.73 58.33 58.33	3 5.45 15.79 25.00	0 0.00 0.00 0.00	12 21.82 0.00 0.00
ある程度あてはまる: 3	0 0.00 0.00 0.00	4 7.27 33.33 23.53	8 14.55 42.11 47.06	5 9.09 26.32 29.41	17 30.91 26.32 29.41
とてもあてはまる: 4	1 1.82 20.00 4.17	1 1.82 8.33 4.17	8 14.55 42.11 33.33	14 25.45 73.68 58.33	24 43.64 73.68 58.33
合計	5 9.09	12 21.82	19 34.55	19 34.55	55

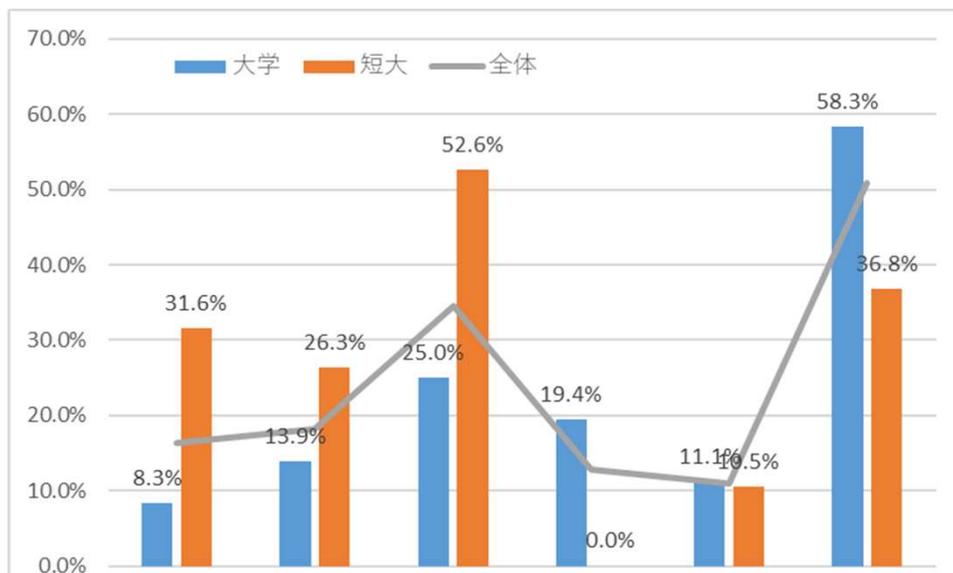
IV-2. 本学は社会からどのように評価されていると思うか

調査結果要約・考察・まとめ

◆前回調査では9名の無回答がいたが、今回は全員1つ以上の回答をしていた。大学と短大で項目によって差が大きいものがある。社会的評価については、短大が高いという回答が31.6%だったが、大学では8.3%と低い評価になっている。P12の「本学を卒業したことに誇りを感じていますか」という問で否定的な回答が合わせて25.4%あったことと関係があると思われる。一方、卒業生は社会的に活躍しているでは、大学が58.3%と高い数字を示している。

(11) 本学は社会からどのように評価されていると思いますか。あなたのイメージと近いものを選んで、該当するものを3つまで選んでください。

- ① 社会的にも高く評価されている
- ② 教育研究水準は相対的に高い
- ③ 教育研究を通して社会に貢献している
- ④ 国際交流事業は活発である
- ⑤ 環境への取り組みを通して社会に貢献している
- ⑥ 卒業生は社会的に活躍している



	社会的にも高く評価されている	教育研究水準は相対的に高い	教育研究を通して社会に貢献している	国際交流事業は活発である	環境への取り組みを通して社会に貢献している	卒業生は社会的に活躍している
大学	3 8.3%	5 13.9%	9 25.0%	7 19.4%	4 11.1%	21 58.3%
短大	6 31.6%	5 26.3%	10 52.6%	0 0.0%	2 10.5%	7 36.8%
全体	9 16.4%	10 18.2%	19 34.5%	7 12.7%	6 10.9%	28 50.9%

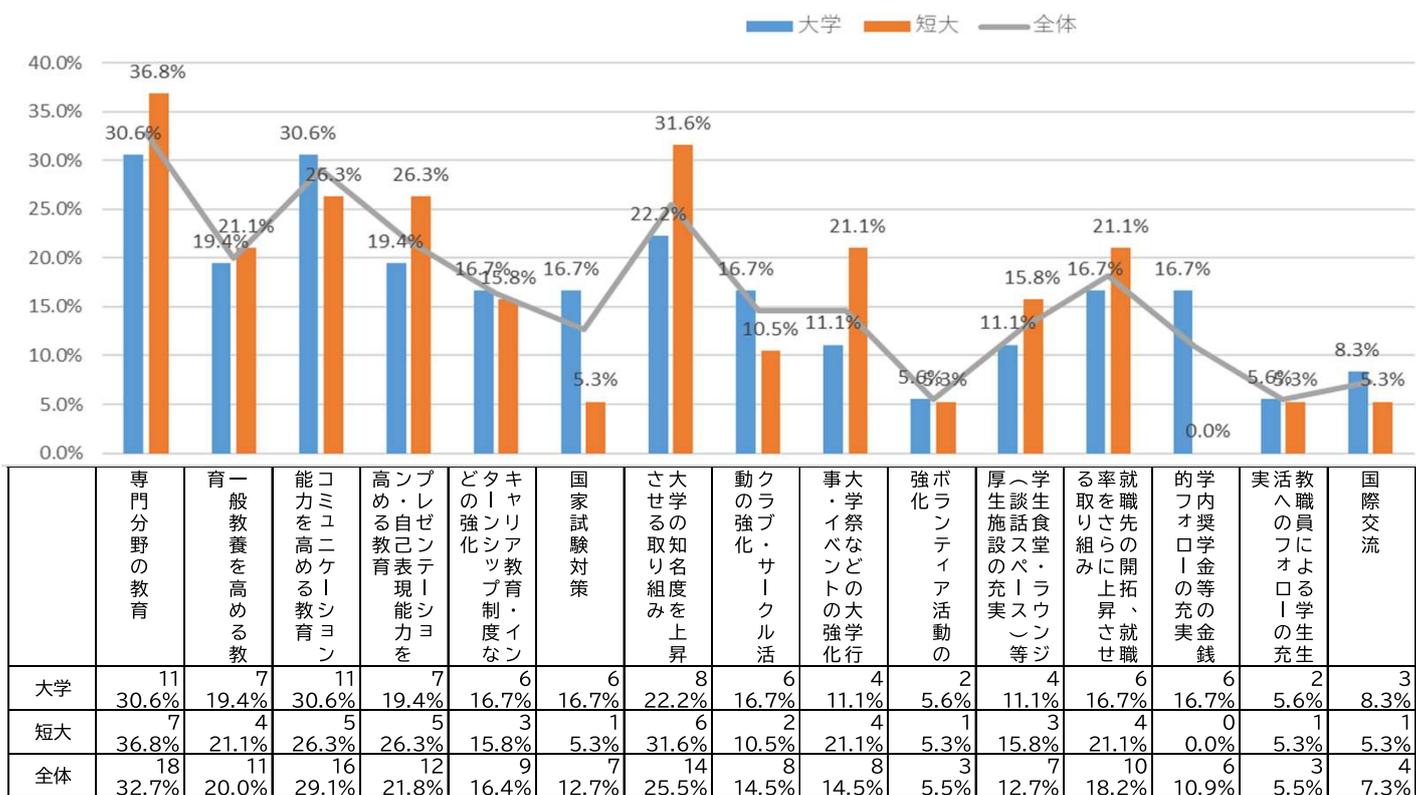
V-1. 本学での学びと本学に対する思い

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆ 「専門分野の教育」(32.7%)「大学の知名度を上昇させる取り組み」(25.5%)、「プレゼンテーション・自己表現能力を高める教育」(21.8%)、「就職先の開拓、就職率をさらに上昇させる取り組み」(18.2%)、「キャリア教育・インターンシップ制度などの強化」(16.4%)と続く。知名度については、前問で卒業生は活躍しているのに大学の社会的評価が低いことへの思いが見て取れる。
- ◆ 前回調査では短大において「教職員による学生生活へのフォローの充実」が24.0%と高かったが、今回は大学短大ともに回答数が低くなった(5.5%)。フォローが適正に行われたものかと思われる。

(12) 今後、本学が力を入れるべきものは何だと思えますか。社会人から見て、必要と思われるものを3つまで選んでください。

- ① 専門分野の教育
- ② 一般教養を高める教育
- ③ コミュニケーション能力を高める教育
- ④ プレゼンテーション・自己表現能力を高める教育
- ⑤ キャリア教育・インターンシップ制度などの強化
- ⑥ 国家試験対策
- ⑦ 大学の知名度を上昇させる取り組み
- ⑧ クラブ・サークル活動の強化
- ⑨ 大学祭などの大学行事・イベントの強化
- ⑩ ボランティア活動の強化
- ⑪ 学生食堂・ラウンジ（談話スペース）等 厚生施設の充実
- ⑫ 就職先の開拓、就職率をさらに上昇させる取り組み
- ⑬ 学内奨学金等の金銭的フォローの充実
- ⑭ 教職員による学生生活へのフォローの充実
- ⑮ 国際交流



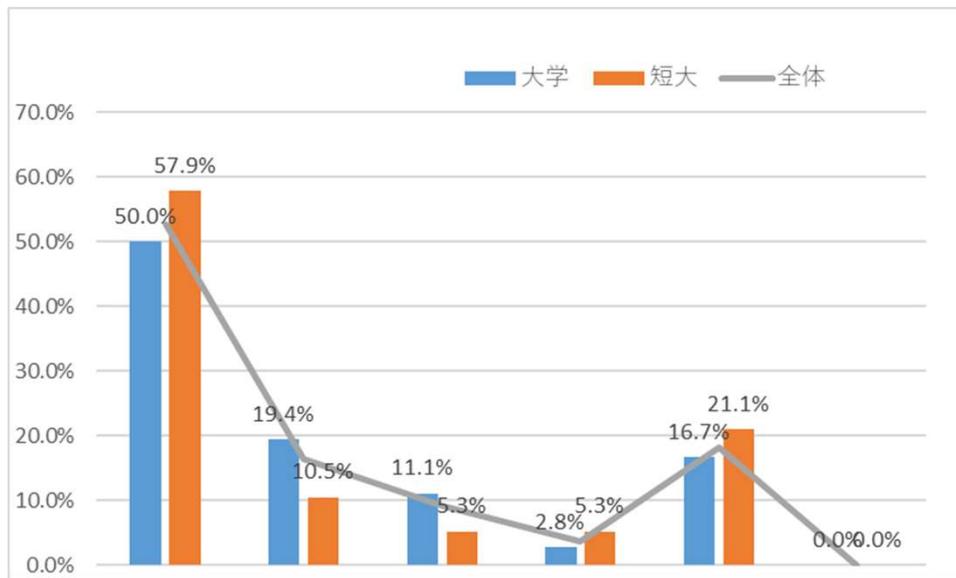
V-2. 今後、何らかの形で再び本学で学ぶとすると、どのような機会にしたいか

調査結果要約・考察・まとめ

◆「資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会」(52.7%)が約半数を占める。一方、「技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会」は16.4%であり、大学だけでは19.4%である。リスキリングに対する需要が一定数あることがうかがえる。本学の今後を考えるうえで貴重なデータである。

(13) 今後なんらかの形で再び本学で学ぶとしたら、どのような機会にしたいと思いますか。ひとつだけ選んでください。

- ① 資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会
- ② 技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会
- ③ 必ずしも仕事・職業とは関係のないことを広く教養として学ぶ機会
- ④ その他のことで学ぶ機会
- ⑤ 学ぶ機会ということでは特に希望することはない
- ⑥ その他



	資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会	技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会	必ずしも仕事・職業とは関係のないことを広く教養として学ぶ機会	その他のことで学ぶ機会	学ぶ機会ということでは特に希望することはない	その他
大学	18 50.0%	7 19.4%	4 11.1%	1 2.8%	6 16.7%	0 0.0%
短大	11 57.9%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%
全体	29 52.7%	9 16.4%	5 9.1%	2 3.6%	10 18.2%	0 0.0%

VI. 自由記述

調査結果要約・考察・まとめ

- ◆自由記述の内容は、大学・教員への感謝、現況報告、施設や教職員の対応への改善を求めるもの、提案などいずれも貴重なコメントばかりである。とりわけ改善への指摘や提案などをこそ大切にしたい。
- ◆今回の調査では、栄養マネジメント学科と健康システム学科に自由記述がなかった。

自由記述に関して、記述内容を明らかにするために以下、計量テキスト分析を行う。
 なお、計量テキスト分析に際しては、フリーソフトであるKH Coder及びインターネット分析ソフトであるUser Localを用いた。

はじめに形態素分析（文章を意味のある最小の単位に分解して、意味や品詞など判別すること）を行い、単語出現頻度を示すとともに、頻度の高い語についてはKWICコンコーダンスにより語の前後の文脈を示す。次に、言葉の重みについてワードクラウドで視覚化を行い、最後に共起ネットワークを描画した上で考察を行う。

【単語出現頻度】 User Local AIテキストマイニングを使用

■ 名詞				■ 動詞			
	スコア ▲	出現頻度 ▲		スコア ▲	出現頻度 ▲		
先生	1.85	16	思う	0.10	13		
大学	1.16	8	学ぶ	2.41	7		
看護師	1.58	5	いただく	0.35	7		
担任	2.22	4	頑張る	0.10	7		
兵庫大学	27.69	3	くださる	0.10	7		
実習生	9.17	3	教える	0.16	5		
大学時代	3.31	3	活かす	1.42	3		
保育	2.61	3	振り返る	0.69	3		
後輩	0.34	3	働く	0.13	3		
経験	0.21	3	頂ける	0.09	2		
生活	0.13	3	伝える	0.09	2		
相談	0.07	3	過ごす	0.08	2		
アセスメント	7.05	2	思える	0.07	2		
教諭	6.24	2	決める	0.05	2		
大学院	2.52	2	会う	0.02	2		

■ 形容詞			■ 感動詞		
	スコア ▲	出現頻度 ▲		スコア ▲	出現頻度 ▲
良い	0.05	6	ありがとう	0.05	6
欲しい	0.01	2	---	---	---
伝わりにくい	1.50	1	---	---	---
厳しい	0.02	1	---	---	---
上手い	0.01	1	---	---	---
大きい	0.01	1	---	---	---
うまい	0.01	1	---	---	---
新しい	0.01	1	---	---	---
多い	0.00	1	---	---	---
嬉しい	0.00	1	---	---	---
楽しい	0.00	1	---	---	---
よい	0.00	1	---	---	---
いい	0.00	1	---	---	---
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---

Ⅶ. 企業アンケートとの比較・検討

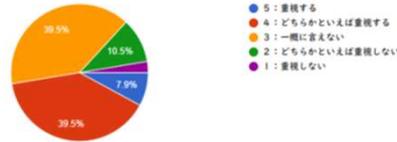
本学卒業生に対する企業アンケートを、学生支援課が令和6年2月14日(水)から令和6年2月20日(火)で行い、大学については、76の対象企業のうち42の企業から回答が得られた(回答率55.3%)。短大については、28の対象園のうち19の園から回答が得られた(回答率67.6%)。

卒業生アンケートの内容と比較・検討することで、本学の教育と企業・園が求める教育との繋がりが見られることを目指して、分析を行う。

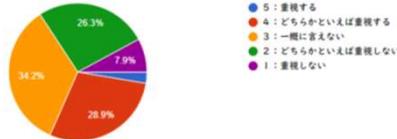
●大学

【採用に当たってどのような点を重視しましたか】

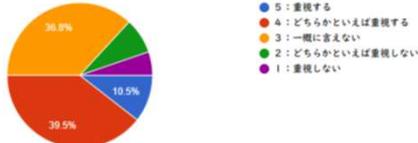
①幅広い教養【回答数：38件】



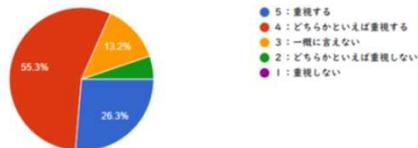
②専門分野の知識・技能【回答数：38件】



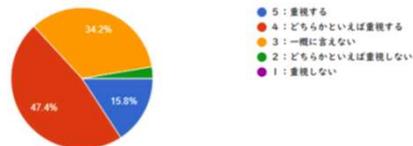
③職業人としての基礎的な力【回答数：38件】



④社会人としての基礎的な力【回答数：38件】



⑤課題探究・問題解決に係る基礎的な力【回答数：38件】

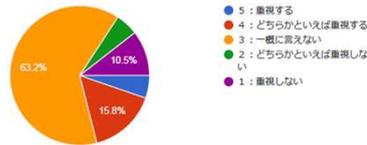


- ◆卒業生アンケートⅢ-3にあるように、学生が就職先を決定する際に最も重視したのは、「大学での専門分野との関連」(27.8%)であるが、企業として採用時にそれを「重視する」と回答したのは2.6%で、「ある程度重視する」と回答したのは28.9%である。それよりも「社会人としての基礎的な力」が「重視する」「どちらかといえば重視する」合わせて81.6%、「課題探究・問題解決に係る基礎的な力」が合わせて63.2%となっており、学生の意識との間にギャップが存在すると見られる。
- ◆企業が採用時に重視するとした上記2つの力について、卒業生アンケートのⅢ-5. 勤務先において求められる能力のうち「目的を設定し達成しようとする力」(「とても求められる」「ある程度求められる」合わせて97.2%)や「現状を分析し目的や課題を明らかにする力」(同94.4%)、「課題を解決するためにプロセスを理解して自ら取り組む力」(同88.9%)、「社会のルール・マナーについて理解する力」(同100.0%)と密接な関りがある。
- ◆卒業生アンケートのⅢ-7. 大学時代を振り返り、身につけておくべきだったと思う能力についても、大学では「社会人としてのマナー・常識」が41.7%で最も多く、次いで「新しいことに挑戦する力」「リーダーシップ能力」がともに33.3%となっている。企業が求める力を大学時代から身につけておけばよかったという思いが見受けられる。

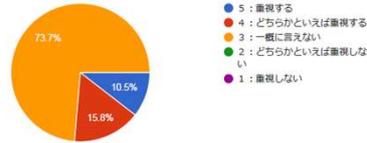
●短大

【採用に当たってどのような点を重視しましたか】

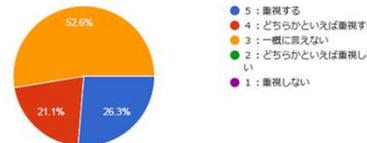
①幅広い教養【回答数：19件】



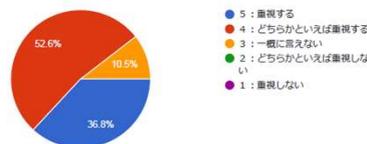
②専門分野の知識・技能【回答数：19件】



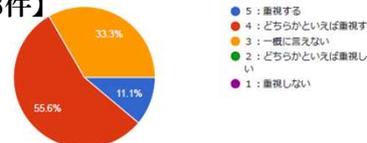
③職業人としての基礎的な力【回答数：19件】



④社会人としての基礎的な力【回答数：19件】



⑤課題探究・問題解決に係る基礎的な力【回答数：38件】

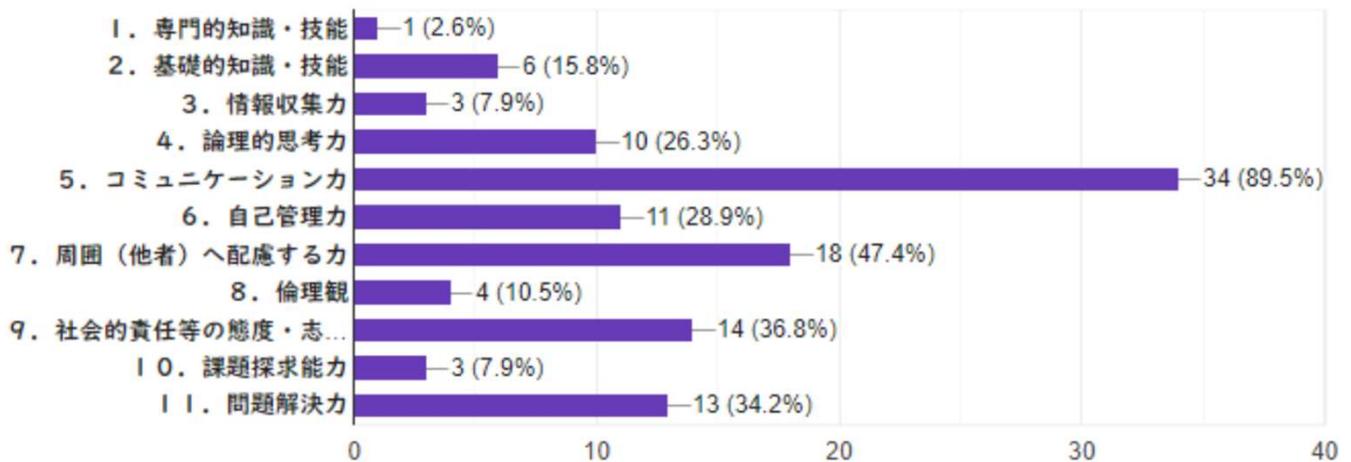


- ◆卒業生アンケートⅢ-3にあるように、学生が就職先を決定する際に最も重視したのは、「大学での専門分野との関連」(26.3%)であるが、園として採用時にそれを「重視する」「ある程度重視する」と回答したのは合わせて26.3%である。それよりも「社会人としての基礎的な力」が「重視する」「どちらかといえば重視する」合わせて89.4%、「課題探究・問題解決に係る基礎的な力」が合わせて66.7%となっており、学生の意識との間にギャップが存在すると見られる。
- ◆園が採用時に重視するとした上記2つの力について、卒業生アンケートのⅢ-5. 勤務先において求められる能力のうち「表現力・コミュニケーション能力」(「とても求められる」「ある程度求められる」合わせて100.0%)や「目標を設定し達成しようとする力」(同100.0%)、「課題を解決するためにプロセスを理解して自ら取り組む力」(同100.0%)、「社会のルール・マナーについて理解する力」(同100.0%)と密接な関りがある。
- ◆卒業生アンケートのⅢ-7. 大学時代を振り返り、身につけておくべきだったと思う能力について、短大では「論理的思考力」が52.6%で最も多く、次いで「リーダーシップ能力」(47.4%)、「新しいことに挑戦する力」(42.1%)とつづく。大学と違いが見られるのは、職場が幼稚園・保育園という特殊性があるからであろう。

●大学

5. 本学の教育について求めるものをお伺いします。

①今後どのような力の育成を充実するのが望ましいと思われませんか。（3つまで可）【回答数：38件】

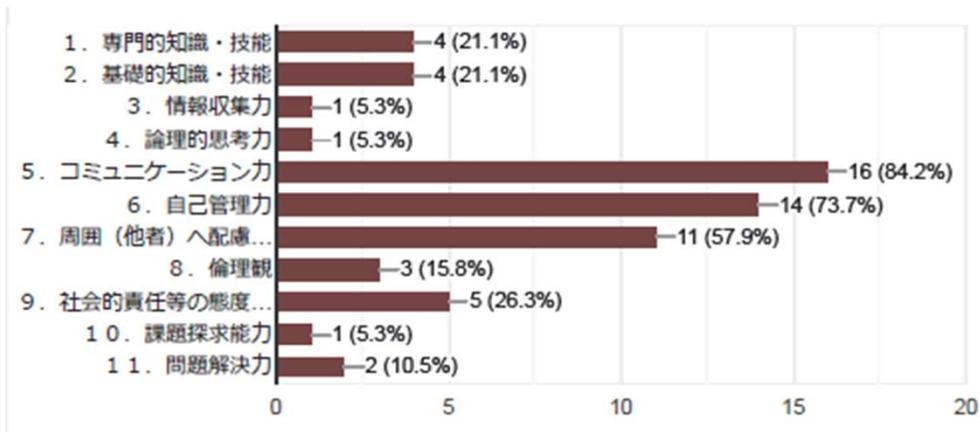


- ◆企業アンケートでは、圧倒的に「コミュニケーション力」の育成が望ましい(89.5%)と回答されている。一方、令和5年度の卒業時アンケートで、「コミュニケーション力」が伸びたと回答した学生が19.8%で選択肢中最も多くなっているが、うち、こども福祉学科が26.0%で最も多く、次いで健康システム学科が21.1%であり、他の学科は20.0%未満となっている。この力の養成が課題あることがわかる。
- ◆次に多いのが「周囲(他者)へ配慮する力」(47.4%)で、「社会的責任等の態度・志向性」(36.8%)、「問題解決力」(34.2%)と続く。
- ◆卒業生アンケートでは、Ⅲ-7 大学時代を振り返り、身に付けておくべきだったと思う能力は何かという間に、最も多く回答していたのが「社会人としてのマナー・常識」(41.7%)、次いで「リーダーシップ能力」「新しいことに挑戦する力」(ともに33.3%)だったことから、企業が求める力と学生がつけたかった力について、一致しているわけではないが、重なる部分はある。
- ◆今後卒業生アンケートに「コミュニケーション力」の項目も入れておくべきと考えられる。

●短大

5. 本学の教育について求めるものをお伺いします。

①今後どのような力の育成を充実するのが望ましいと思われませんか。（3つまで可）【回答数：38件】



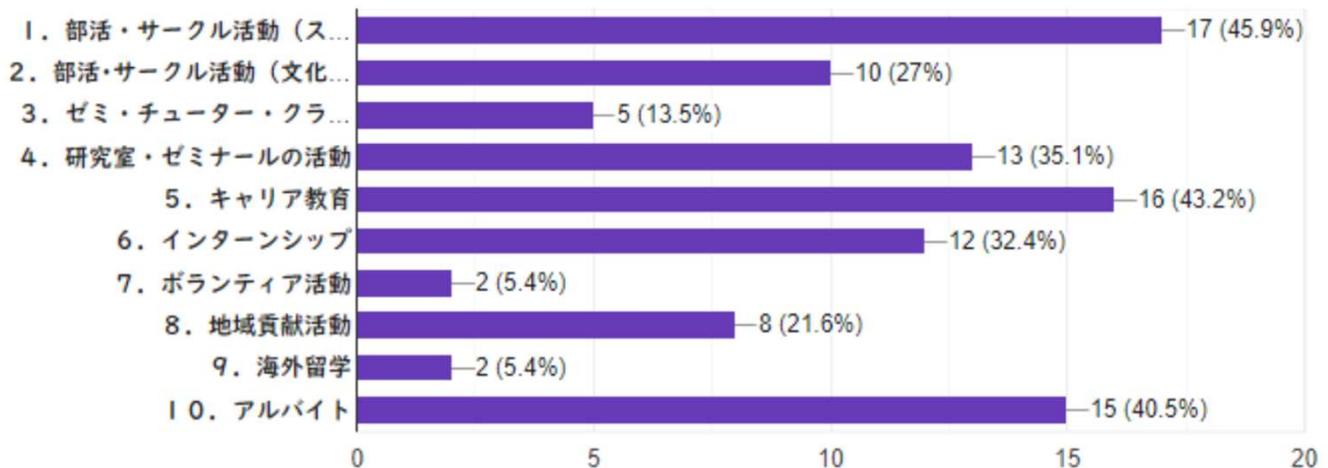
- ◆こちらでも、「コミュニケーション力」の育成が望ましい(84.2%)と回答されている。卒業時アンケートでは、「コミュニケーション力」が伸びたと回答している学生が33.5%で、選択肢中最も多くなっている。大学よりは多いのは学科の特殊性によるものと思われる。
- ◆次に多いのが「自己管理能力」(73.7%)でこれも高い割合である。「周囲(他者)へ配慮する力」(47.4%)「社会的責任等の態度・志向性」(26.3%)と続く。大学で高かった「問題解決力」は10.5%と低い。
- ◆卒業生アンケートでは、Ⅲ-7 大学時代を振り返り、身に付けておくべきだったと思う能力は何かという間に、最も多く回答していたのが「論理的思考力」(52.6%)、次いで「リーダーシップ能力」(47.4%)「新しいことに挑戦する力」(42.1%)だった。子どもたちを指導するという特殊性が感じられる。

●大学

5. 本学の教育について求めるものをお伺いします。

②上記①以外のどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか。（3つまで可）

【回答数：37件】



◆「部活・サークル活動(スポーツを中心に)」の充実が望ましい(45.9%)と回答されている。次いで「キャリア教育」(43.2%)、「アルバイト」(40.5%)と続く。意外だったのがこの「アルバイト」で、学校の教育活動ではないものの、企業がこれによって例えば「コミュニケーション力」等の育成を願っていると考えられる。卒業時アンケートにおいて、一日平均2時間以上アルバイトをしている学生の割合は65.7%となっている。

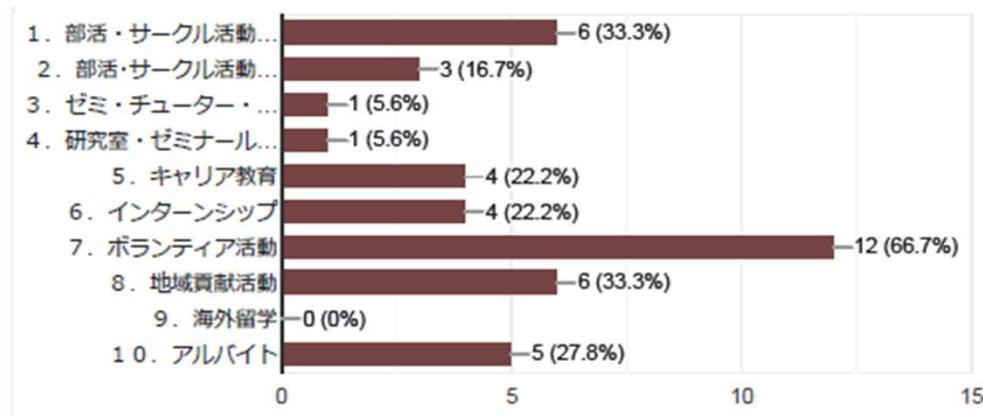
◆卒業時アンケートでは、課外活動(クラブ・サークル活動)の満足度を尋ねており、68.2%が「満足」「とても満足」と答えている。この項目ではスポーツ系か文化系かの区別はつかないが、本学の部活・サークル活動はある程度充実していると言えそうである。

●短大

5. 本学の教育について求めるものをお伺いします。

②上記①以外のどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか。（3つまで可）

【回答数：37件】



◆「ボランティア活動」の充実が望ましい(66.7%)と回答されている。次いで「部活・サークル活動(スポーツを中心に)」(33.3%)、「地域貢献活動」(33.3%)と続く。「アルバイト」は27.8%で大学に比べて低いものの一定の要望がある。

◆卒業時アンケートでは、課外活動(ボランティア)の満足度を尋ねており、89.6%が「満足」「とても満足」と答えている。短大のボランティア活動についてはある程度充実していると言えそうである。

2024年度実施 卒業生アンケート質問内容

- (1) 卒業年度
 - ① 2022年度
 - ② 2019年度
- (2) 最終年度に所属していた学科
 - ① 現代ビジネス学科
 - ② 栄養マネジメント学科
 - ③ 健康システム学科
 - ④ 看護学科
 - ⑤ 社会福祉学科
 - ⑥ こども福祉学科
 - ⑦ 保育科第一部
 - ⑧ 保育科第三部
- (3) 大学教育の中で身に付けることができたと思う知識・能力は何ですか。該当するものを3つまで選んでください。
 - ① 一般的な教養
 - ② 専門的知識
 - ③ 英語等の語学力
 - ④ 主体的に動く力
 - ⑤ 他者に働きかける力
 - ⑥ 最後までやりとげる力
 - ⑦ 課題を発見する力
 - ⑧ 課題を解決する力
 - ⑨ 他者を理解する力
 - ⑩ パソコンを使う力
 - ⑪ 必要な情報を得る力
 - ⑫ プレゼンテーション能力
 - ⑬ ディベート能力
 - ⑭ リーダーシップ
 - ⑮ 資格の取得 ()
 - ⑯ その他 ()
- (4) あなたの職業やキャリアについてお聞かせください。
 - ① 正社員・正規職員
 - ② 契約社員・契約職員
 - ③ 派遣社員・派遣職員
 - ④ パート・アルバイト
 - ⑤ 専業主婦・専業主夫
 - ⑥ 無職
 - ⑦ その他
- (5) 卒業後、希望通りの進路に進むことができましたか。
 - ① 希望通りのところへ進むことができた
 - ② おおむね希望通りのところへ進むことができた
 - ③ 希望通りのところへ進むことができなかった
- (6) 就職先を決定するに当たって最も重視したことは何ですか。該当するものを一つだけ選んでください。
 - ① 大学での専門分野との関連
 - ② 業種
 - ③ 地域条件(勤務地・転勤の有無など)
 - ④ 規模
 - ⑤ 知名度やイメージ
 - ⑥ 経営方針
 - ⑦ 安定性
 - ⑧ 給与
 - ⑨ OBやOGの存在
 - ⑩ 勤務時間・休暇・福利厚生など
 - ⑪ その他

(7) 現在、大学で修得した専門知識または資格を生かす職に就いていますか。

① 卒業後ずっと生かす職に就いている。

② 生かす職には就いていなかった(あるいは就いていないときもあった)が現在は就いている。

③ 過去には生かす職についていたが、現在は異なる職についている(主婦、主夫を含む)。

④ 卒業以来一度も生かす職には就いていない。

⑤ 就職したことがない。

⑥ 就職したことがない。

(8) あなたの勤務先において、下記の能力について社員(職員)等にどの程度求められていると思いますか。

(とても求められる:4、ある程度求められる:3、

あまり求められない:2、求められない:1)

① 表現力・コ

ミュニケーション能力

(4, 3, 2, 1)

② 情報リテラシー・数理的スキル

(4, 3, 2, 1)

③ 幅広い知識や教養

(4, 3, 2, 1)

④ 専門分野に関する基本的な知識・理解

(4, 3, 2, 1)

⑤ 専門分野に関する知識・理解を応用する力

(4, 3, 2, 1)

⑥ 目標を設定し達成しようとする力

(4, 3, 2, 1)

⑦ 現状を分析し目的や課題を明らかにする力

(4, 3, 2, 1)

⑧ 課題を解決するためのプロセスを理解し自ら取り組む力

(4, 3, 2, 1)

⑨ 社会のルール・マナーについて理解する力

(4, 3, 2, 1)

⑩ 社会の一員として社会貢献に積極的に関与する力

(4, 3, 2, 1)

⑪ 地域の文化・経済の特徴や強みを理解する力

(4, 3,

2, 1)

⑫ 多様な価値観を尊重し、異なる文化を理解する力

(4, 3, 2, 1)

⑬ 特定の外国語を用いて相手と意思疎通できる力

(4, 3, 2, 1)

⑭ 自ら考え主体的に学ぶ力

(4, 3, 2, 1)

⑮ 学ぶことの意義を理解し学び続けようとする力

(4, 3, 2, 1)

(9) 他機関卒業生と接して本学では足りないと感じた部分について、該当するものを3つまで選んでください。

① 先輩や後輩、同級生とのつながり

② 基礎分野教育に関する知識や技術

③ 専門分野教育に関する知識と技術

④ コミュニケーション能力

⑤ 協調性や発言力

⑥ 責任感

⑦ 職業観、就業意識

⑧ チャレンジ精神、創造性

⑨ マナー・倫理観

(10) 大学時代を振り返り、身に付けておくべきだったと思う能力は何ですか。該当するものを3つまで選んでください。

① 論理的思考力

② リーダーシップ能力

③ 社会人としてのマナー・常識

④ 責任感

⑤ やり遂げる力

⑥ 新しいことに挑戦する力

⑦ 他人に対する配慮・心配りができる力

⑧ その他

- (11) 本学での学びと本学に対する思いについて
 (とてもはてはまる:4、ある程度あてはまる:3、あまりあてはまらない:2、あてはまらない:1)
- ① 本学で学んだことについて満足していますか？
(4, 3, 2, 1)
 - ② 本学在学中の学びと経験を通して成長したと思いますか？
(4, 3, 2, 1)
 - ③ 本学を卒業したことに誇りを感じますか？
(4, 3, 2, 1)
 - ④ 身近に、私立大学への進学を希望する者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか？
(4, 3, 2, 1)
 - ⑤ 本学での学修や経験は、その後の社会生活やキャリア形成に役立っていますか？
(4, 3, 2, 1)
 - ⑥ 本学で得た人とのつながりや人脈は、その後の社会生活や職業生活に役立っていますか？
(4, 3, 2, 1)
- (12) 本学は社会からどのように評価されていると思いますか。あなたのイメージと近いものを選んで、該当するものを3つまで選んでください。
- ① 社会的にも高く評価されている
 - ② 教育研究水準は相対的に高い
 - ③ 教育研究を通して社会に貢献している
 - ④ 国際交流事業は活発である
 - ⑤ 環境への取り組みを通して社会に貢献している
 - ⑥ 卒業生は社会的に活躍している
- (13) 今後、本学が力を入れるべきものは何だと思いますか。社会人から見て、必要と思われるものを3つまで選んでください。
- ① 専門分野の教育
 - ② 一般教養を高める教育
 - ③ コミュニケーション能力を高める教育
 - ④ プレゼンテーション・自己表現能力を高める教育
 - ⑤ キャリア教育・インターンシップ制度などの強化
 - ⑥ 国家試験対策
 - ⑦ 大学の知名度を上昇させる取り組み
 - ⑧ クラブ・サークル活動の強化
 - ⑨ 大学祭などの大学行事・イベントの強化
 - ⑩ ボランティア活動の強化
 - ⑪ 学生食堂・ラウンジ(談話スペース)等 厚生施設の充実
 - ⑫ 就職先の開拓、就職率をさらに上昇させる取り組み
 - ⑬ 学内奨学金等の金銭的フォローの充実
 - ⑭ 教職員による学生生活へのフォローの充実
 - ⑮ 国際交流
- (14) 今後なんらかの形で再び本学で学ぶとしたら、どのような機会にしたいと思いますか。ひとつだけ選んでください。
- ① 資格など修得のための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会
 - ② 技術的知識ではない広い知識を、職業人としての実力を磨くために学ぶ機会
 - ③ 必ずしも仕事・職業とは関係のないことを広く教養として学ぶ機会
 - ④ その他のことで学ぶ機会
 - ⑤ 学ぶ機会ということでは特に希望することはない
 - ⑥ その他
- (15) 最後に、大学に対し望むことや後輩へのメッセージ・ご意見等がございましたら自由に記入してください。ご希望があれば、教職員等にメッセージをお渡しさせていただきます(在籍していない教員には渡せない場合があります)。